

げに向けて

来賓として、金属労協（JCM）有野副議長と連合東京 岡田会長にお越しいただき、連帯の挨拶をいただいた。



金属労協（JCM） 有野 副議長



連合東京 岡田 会長

易には許さない事業環境に晒される実態からは、日本のものづくり基盤に対する強い危機感を持たざるを得ない。

また、この2年間の労働条件交渉においても全体として賃金引き上げが叶った一方、中堅・中小労組においては残念ながら格差が拡大した結果をそのまま放置することは出来ない。また、自動車産業を支える中堅、中小企業における労働組合の組織率は極めて低いことも念頭に置いた運動のプラットフォームが不可欠である。

こうした認識に立って、日本の経済・社会、産業・企業、働く者、お客様が共にWIN-WINの関係となるため、そして、「現場力の底上げ」を合言葉に、バリューチェーンに付加価値が最適に循環出来るよう、その最初の歯車を回す役割は、問題意識を共有出来る私たち自動車産業労使であろうとの結論に至った。今後あらゆる機会を通じて、社会的な機運の醸成に努力していきたい。

運動は、一つ目に、イノベーションへの挑戦を通じた付加価値の最大化、二つ目に、付加価値を適正評価する企業行動、三つ目に、企業間の協力関係強化による健全な改善の3本柱で構成し、テーマ設定の切り口としては、産業を横断する課題、各グループ特有の課題、そして、業種や個別労使における個別課題へと落とし込みながら自動車産業全体の底上げに向けて運動を展開していく。

第24回参議院議員選挙に向けて

昨年9月、自動車総連第44回大会での総決起集会において大変な盛り上がりの中、参加者全員で勝利を誓い合い、支援者拡大に向け、「はまぐち 誠候補予定者」を全国に送り出して以降、本日まで取り組みを支えてこられた12労連、47地協、最先端役員までの全ての皆さんの懸命な努力に心より敬意を表します。

政治に目を向ければ、国民の声に耳を傾けない安全保障法案、次世代の雇用を危うくする労働者派遣法、財源無き中での軽減税率の導入と参議院議員選挙直前に単発で支給される3万円の臨時給付金、そして、各省庁が自らの税財源の確保を只々優先し、抜本改革に進まない自動車関係諸税の改正内容など、目を覆わんばかりの状況がまかり通っている。そうした中、衆議院解散・総選挙も遠くないのではないかとの観測も飛び交いつつある。

また、野党勢力の結集の動きはあるものの、断定的な判断を持ち得る状況には無いなど、私たちを取り巻く政治情勢は様々だが、今回の「はまぐち 誠候補予定者」を立てて取り組む参議院議員選挙は、今後の日本の姿を左右しかねない大変重要な取り組みになることは衆目の一致するところである。

私たちの獲得目標と想定する投開票日は昨年末に既に確認した。本年も力を合せて頑張っていきたい。

国政報告

自動車総連組織内議員のなおしま正行参議院議員、ふるもと伸一郎衆議院議員、いそぎ哲史参議院議員よりそれぞれ国政報告をいただいた。



なおしま正行 参議院議員



ふるもと伸一郎 衆議院議員



いそぎ哲史 参議院議員